

AI時代の知財戦略：競争力は「発明力」から「権利化力」へ

従来の世界：競争力の源泉は「発明力」

発明は希少な「職人芸」だった

研究者のひらめきや経験に依存し、創出には多大な時間がかかりました。



競争優位は「圧倒的な技術的差別化」

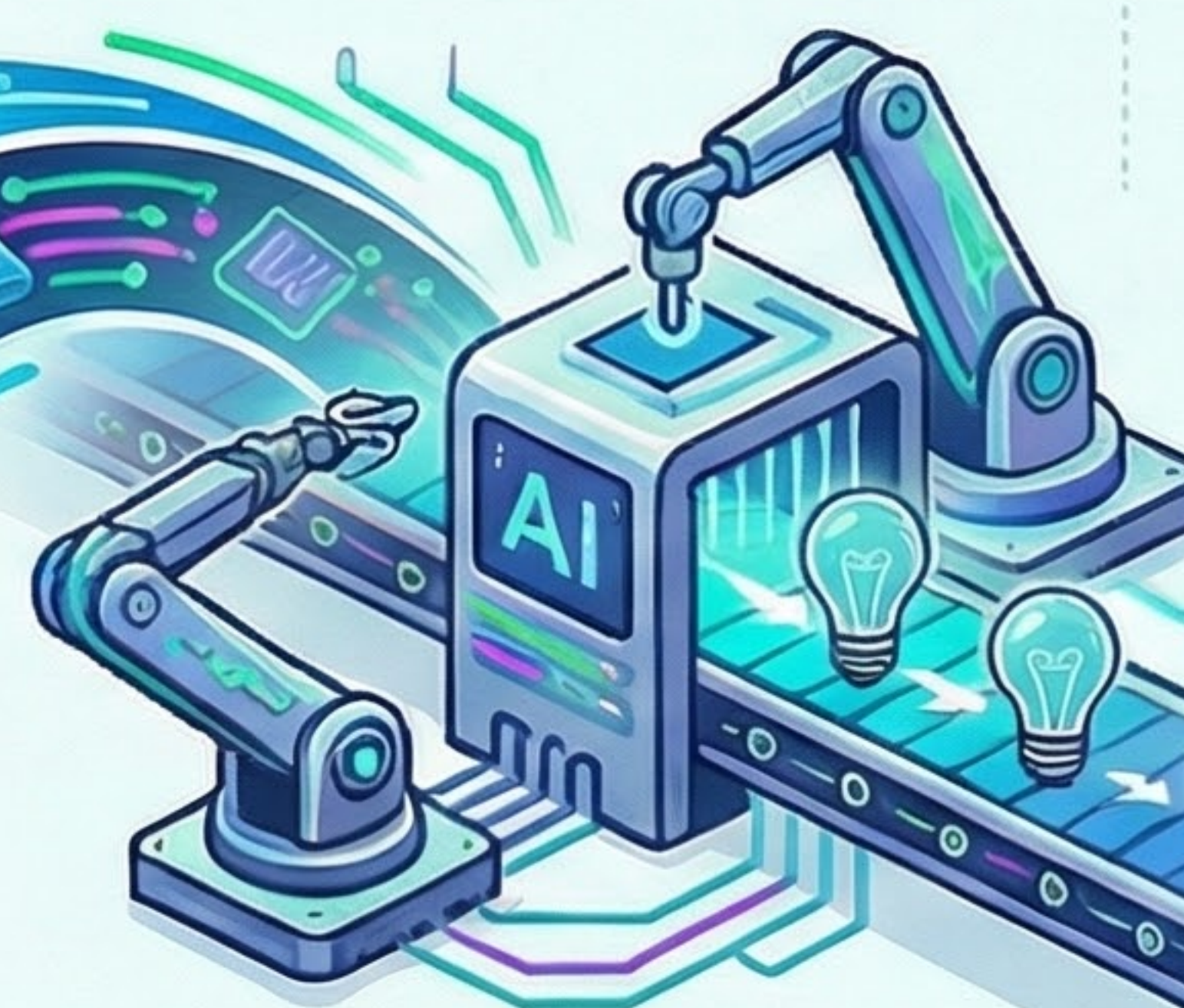
他社が模倣できない独自の技術を持つことが、市場での成功を決定づけました。



AI時代：勝敗を分けるのは「権利化力」

発明はAIによる「工業プロセス」へ

AIがアイデアを瞬時に大量生成するため、「発明」そのものがコモディティ化します。



競争優位は「最速の権利化」

発明の出自を証明し、他社に先駆けて法的優位を確保する組織能力



発明力とは？

優れた技術を他社より早く生み出す、研究開発部門の能力そのものでした。

発明力
(技術的差別化)

競争優位の源泉

アイデアの創出

ボトルネック

技術的実現性の欠如

主なリスク

権利化力
(権利網の構築速度)

権利化の処理能力・
法的判断

権利侵害・
起源の証明不能



新たな脅威

「技術コンタミネーション
(汚染)」

内部情報と外部情報が過剰に
権利侵害や機密情報流出の
リスクが増大します。